

問 1 ラテン語を解剖学名〔漢字〕に、解剖学名をラテン語に訳し、解答欄に記せ。

- ① 下顎骨
- ② 橈骨
- ③ 肩甲骨
- ④ 上腕骨
- ⑤ 仙骨
- ⑥ 大腿骨
- ⑦ 膝蓋骨
- ⑧ Acromion
- ⑨ Sternum
- ⑩ Ulna
- ⑪ Atlas
- ⑫ Clavicula
- ⑬ Vertebra Lumbales

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬		

問 2 眼窩を構成する骨の名前をあげよ。

問 3 次の文中の(①)～(⑳)に当てはまる語句を解答欄に記入せよ。選択肢がある場合は記号を選んで答えよ。

<神経叢>

腕神経叢は(①)(脊髄部位)から(②)(脊髄部位)の(③)(a:前根, b:後根, c:前枝, d:後枝)によって形成される神経叢である。腕神経叢は中枢側から末梢側に向かって(④)、上・中・下の 3 本からなる(⑤)、内側・外側・後側の 3 本からなる神経束の 3 部に分けられる。腕神経叢には主として 5 つの枝がある。内側神経束から出る(⑥)神経、内側神経束と外側神経束とから起こる(⑦)神経、外側神経束から出る(⑧)神経、後神経束から出る(⑨)神経と(⑩)神経である。((⑨) と (⑩) の解答は順不同) (⑥) 神経が麻痺することにより(⑪)手、(⑦) 神経が麻痺することにより(⑫)手となる。脊髄上部の膨らみを(⑬)といい、上肢を支配する。また、下肢を支配する神経については、大腿四頭筋を(⑭)神経が、大腿の内転筋群を(⑮)神経が支配する。仙骨神経叢から出る人体最大の神経は(⑯)神経である。

<自律神経>

交感神経は心臓の拍動を(⑰)(a:上昇, b:下降)させ、副交感神経は腸の動きを(⑱)(a:亢進, 低下)させる。自律神経は(⑲)(a:前根, b:後根)を通る。交感神経は主に、(⑳)髄の側角からでる。

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
⑯	⑰	⑱	⑲	⑳

問 4 中枢神経系の発生について以下の文中のカッコに適切な語句を入れよ。

神経系は(①)胚葉由来の器官で、胎生 3 週に肥厚し(②)となり、両端が癒合し閉鎖腔を作り神経(③)となる。また癒合部近傍の組織は神経(④)となる。神経(④)の部分は生体では(⑤)神経節となる。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

問 5 脳脊髄液について、以下の文章肉のカッコに正しい語句・数値を入れよ。

脳脊髄液は側脳室内の(①)という組織で 1 日に(②)ml 生成され、室間孔を通り第 3 脳室にはいり、中脳にある(③)を通り橋後面の第 4 脳室を満たす。その後第 4 脳室背側のマジャンディ孔と左右 1 対のルシュカ孔から(④)腔に出て脳表面を満たしている。その後、頭頂部に存在する(⑤)を通り硬膜内の静脈血に合流する。

①	② ml	③	④	⑤
---	------	---	---	---

問 6 正しいものには○、間違ったものには×を記せ。

- (1) 脳を栄養する動脈、ウィリス動脈輪はクモ膜の下を走行する。
- (2) 頭蓋内の中枢神経系を栄養する動脈は内頸動脈と椎骨動脈である。
- (3) 椎骨動脈は左右合してして脳底動脈となる。
- (4) 後交通動脈は左右の後大脳動脈を直接つないでいる。
- (5) 静脈洞は硬膜とクモ膜の間に存在する。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---